

第170回島原市民文化講座
島原図書館開館20周年記念講演会



「有馬氏の歴史と文化」



島原で「殿様」というと、江戸時代の松平家が話題になるようです。
しかし、それ以前、戦国時代から江戸時代のはじめまでは、島原地方は有馬氏が領有していました。
特に、有馬晴信という殿様は、キリスト教宣教師とのつながりを深め西洋の文化や文物を取り入れ、大いに布教に協力し、さらにはヨーロッパに使節を派遣するなど（天正遣欧使節）国際的にも島原地方が輝いていた時代がありました。
のちに有馬家は島原の地を去り、越前丸岡で明治維新を迎えますが、島原地方の歴史の根底には有馬時代の痕跡が残っているように思われます。
今回の市民文化講座は、この有馬氏の歴史と文化を九州中世史の大家であられる外山幹夫先生にご講演いただきます。昨年から今年にかけて島原半島には3つの市が誕生しましたが、この半島全域を統治していた有馬氏の歴史を知ることが、行政の広域化が進む今日においても意義深いものがあると思います。
入場無料ですので、ぜひお誘いあわせの上、ご来場ください。

- 1 日 時 7月22日（土）午後2時から
- 2 場 所 森岳公民館2階 大ホール
- 3 講 師 外山 幹夫 先生（長崎大学名誉教授）
- 4 主 催 島原図書館・島原市教育委員会・
島原市民文化講座

問い合わせ先 島原図書館 64-4115
市教育委員会 68-5473

入場無料



有馬晴信の花押